



第58号

昭和39年4月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

☆4月のこよみ☆

1—7日 緑化週間	20—26日 切手趣味週間
6日 小中学校入学式	22日 身体障害者福祉運動
7日 世界保健デー	28—5・5日 社会教育週間
8日 花まつり	29日 天皇誕生日
10—16日 婦人週間	
18日 発明の日	
18—24日 科学技術週間	
20日 通信記念日	

町議会第1回定例会

昭和39年度予算など

12件を可決

昭和39年度一般、特別会計予算総額2億4千7百49万7千円などを審議する町議会第1回定例会は、3月12日から6日間の会期でひらかれました。

第1日は、日程をきめ、特別職の報酬等に関する条例の一部改正については8件を、原案どおり可決し、

第2日は、昭和39年度一般会計、特別会計を朗読し、町長から各予算について大綱の説明があり、一般質問にはいりました。

また、予算繰越しについて、これを可決しました。

第3日、第4日は、議案の自宅審議のため休会とし、

第5日は、予算案の審議、

第6日は、予算案の審議を続けたあと、これを原案どおり可決して、全日程をおわりました。

可決された、議案のあらましは、次のとおりです。

○非常勤の特別職の報酬等に関する条例の一部改正について

選挙管理委員、農業委員、監査委員、教育委員、区長等の報酬を改正したものです。

○議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例について

○財産の交換、譲与等に関する条例について

○財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例について

○重要な公の施設に関する条例について

○玉造町監査委員条例について

○国民健康保険事業特別会計条例について

○予算繰越について

教育費（統合中学校施設費）1千4百40万円を、昭和39年度へ繰越したものです。

○昭和38年度一般会計の追加更正予算

県道小山鉾田線上山地内の簡易舗装負担金25万円、統合中学校整地の報償費25万円、八木崎地内に建設される稚蚕飼育所に対する補助3百98万円等の追加を含むものです。

○県立工業高校特別会計歳出更正予算

敷地造成に必要な経費を更正したものです。

○昭和39年度一般会計予算

○昭和39年度特別会計（国民健康保険事業）予算

以上、予算2件については、2ページ以下で説明します。

（写真は、町長の予算説明）

新年度の主な事業

Ⅱ 予算大綱の説明からⅡ

議会において、39年度の予算大綱を説明しましたが、そのうち、歳出面にあらわれた、主な施策は次のとおりです。

①玉造中学校の建設を引続いて実施します。

38年度に用地買収を終り、第1期工事に着手したのですが、いろいろなる事情で工事がおくれ、一部が39年度に繰越されますが、本年は引き続き、2千3百平方メートル（7百坪）の建築と、校庭の整地を行ないます。

これによって、3学期から、玉造、現原、手賀各分教室の全生徒が、新校舎で授業をする予定です。

②農業構造改善事業の実施を継続します。

この事業は、第2年目にはいるわけですが指定された地区関係のみなさんの協力が必要で、その努力の積み重ねがみられることを望みます。

③第4年目にはいった国土調査法による、地籍調査の実施です。

39年度は、手賀地区の未実施地域（構造改善予定地区を除きます）玉造地区の読井部、落以南の地域になります。

④黄熱病対策で、昨年度に引き続きヘリコプターによる空中撒布を実施します。

⑤大型ダンプカーと、モーターグレーダーを購入します。

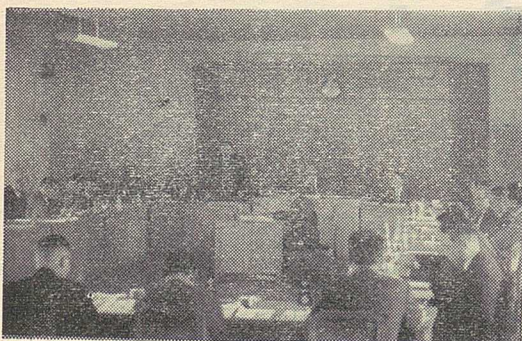
従来の土木用トラック1台が老朽化したので、これを大型ダンプカーと交換して、砂利等運搬の機動力を増し、モーターグレーダーによって、いままで人力で行っていた路面整地に大きな偉力を發揮することを期待しています。

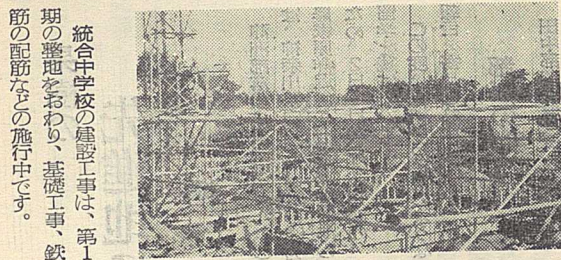
⑥県立玉造工業高等学校に対する建設費負担ですが、これは、37年度から続いて負担しており、本年度が最終年度となっています。

そのほか、農業振興のために信用基金の予約を、商工振興のために商工金融基金の予約を行なったことなどです。

手賀中学校を
玉造中学校へ統合

3月10日ひらかれた、玉造町教育委員会では、手賀中学校を廃止し玉造中学校へ統合することに決定しました。





総合中学校の建設工事は、第一期の整理を完了し、基礎工事、鉄筋の配筋などの施工中です。

諸支出金	12万円
予備費	50万円

ことし

教育費 7千7百51万6千円
総合中学校の建築費5千2百50万円、敷地費4百50万円、県立工業高等学校の負担金4百40万円等が主なものです。そのほか、小中学校運営上の経費、公民館等社会教育上の経費などを計上しました。

特別会計(国保事業)

3千5百16万8千円

歳入

国民健康保険税 1千3百48万9千円
一般会計の町民税のところで述べた様に、課税方式が変更され、当然減額されるわけですが、一応実行しており計上しました。

歳出

延滞金と預金利息など 4百38万円
関係職員給与、等の一般管理費、徴収に要する経費、国保運営協議会費等を計上しました。

保険給付費 2千9百17万7千円
療養費が大半を占めています。いままで世帯主だけ7割給付であったのを、昭和40年1月から世帯員にも7割給付を実施することになりました。

補助費、養育費、児童手当金は前年と同様算出しました。保健施設費 百41万円
寄生病対策、血圧測定、がん検診等の所要額を計上しました。

諸支出金 1千円
予備費 20万円

問い、農業構造改善事業であるが、一地区においては計画を取りやめ、他の地区も反対の声があるというが、その点についてはどうか。

答え、農村振興期の施策として取りあげてきたものであり、手賃地区と浜地区で土壌基盤整備事業を実施することを計画した。

問い、農業構造改善事業であるが、一地区においては計画を取りやめ、他の地区も反対の声があるというが、その点についてはどうか。

答え、評議に不均衡であるのを是正するために行ったもので、増税のためのものではない。

の予算

町 税 3千4百24万3千円
町民税 8百78万3千円

町民税は、本年度当初に比べ、9千5百7千円の増額になっています。

使用料及び手数料 2百18万7千円
母子健康センター、青年研修所等の使用料、戸籍、住民抄本等手数料、町営住宅の使用料等です。

総務費 2千8百36万9千円
区長、区長代理、部長等の報酬採用自動車購入、郡町村会等への負担金、町有財産管理のための修繕料、納税組合に対する報償等徴収のための経費、農業委員の選挙費、統計調査費などを計上しました。

衛生費 5百68万7千円
病気の予防や、衛生指導等に使われるものです。

土木費 1千3百91万3千円
大型ダンプカー(6台車)1台2百40万円、小型ハンドグレーダー1台68万円の購入費のほか、道路工事の賃金、ガソリン等燃料代、砂利、砂等の材料費、県道石岡谷米線の改良舗装、札子道線の簡易舗装工事の地元負担金、芦沢地区幹線道路改良工事の賃金等が含まれています。

消防費 3百18万5千円
消防団員の報酬、小型動力ポンプ1台(緑ヶ丘部落に配備)火の見、貯水槽、機庫の設置による消防施設の充実をはかったことなどです。

一般会計

町の財政を確立するためには、健全財政をたてまえとし、事の重要性を考慮できるだけの財源を確保し、最大の効果を発揮できるようにすること、町に課せられた使命であり、また、行き方なければなりません。

千円、固定資産税1千5百53万2千円、たばこ消費税6百51万2千円、軽自動車税78万3千円、電気ガス税62万4千円等、ほぼ昨年と同額です。

財産収入 43万4千円
大型トラック売却代20万円等を見込みました。

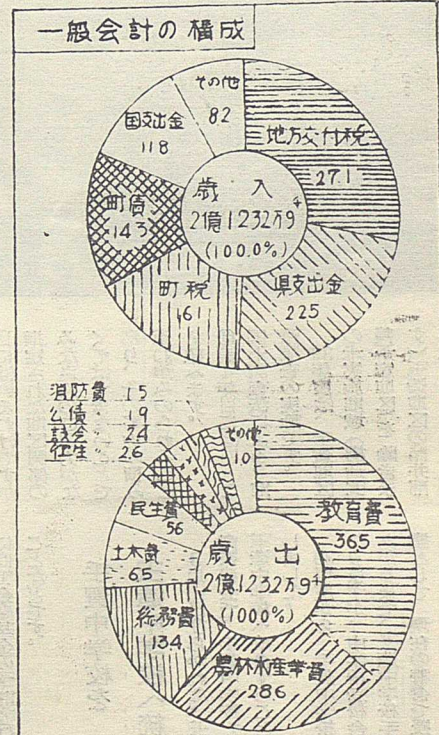
民生費 1千2百5万9千円
社会福祉増進のためのもので、社会福祉協議会、民生委員協議会等に対する補助、印刷代、保険料納付奨励金等国民年金取扱いのため経費等です。

衛生費 5百68万7千円
病気の予防や、衛生指導等に使われるものです。

土木費 1千3百91万3千円
大型ダンプカー(6台車)1台2百40万円、小型ハンドグレーダー1台68万円の購入費のほか、道路工事の賃金、ガソリン等燃料代、砂利、砂等の材料費、県道石岡谷米線の改良舗装、札子道線の簡易舗装工事の地元負担金、芦沢地区幹線道路改良工事の賃金等が含まれています。

町のいろいろな仕事をすすめるための予算がきまりました。

町民税は、本年度当初に比べ、9千5百7千円の増額になっています。



果樹の

先進地に学んで

幡 谷 房 男

沖洲部落の、幡谷房男さん(22)は、神奈川県中郡伊勢原町の優秀農家原達さんの果樹技術習得のため、2月1日から2か月間の、留学を続けています。

この度、現地から次のような報告を寄せられました。

部落の概況

田中部落の農家戸数は50戸で、そのうち、兼業農家10戸、専業農家40戸です。

戦前は、若干の柿のほか、特に見るべきものはなく、普通作と養蚕が主体で、そ葉が多少栽培されていた程度だったそうです。戦後、中堅層の努力で、果樹を中心とした経営に変わりつつあり、特にフトワの集約栽培では県下第一位を占めています。

なお、農業経営の順位は、水稲、果樹、畜産、そ葉となっており、



(柿のせん定中の幡谷君)

果樹は、だんだん減少はしているが、薬剤散布、収穫時期等の努力が不足している状態です。

受入農家の経営状況

梨が、40アール、柿が30アール計一・二ヘクタールの果樹園を持ち、ほかに、水田65アールを耕し、探用用の鶏手羽を飼育するなど、多角的な農業経営をしている優秀な農家です。

このうち、フトワ園は、ずっと前に、日本へ最初に試みた、二ヘクタールの栽培地が、柿は、38年度の全国果実品評会において、優等を得た樹園が含まれています。

実習の内容

毎日が、管理を主とした作業で時々肥培管理も行なっています。七時作業、七時30分朝食、八時作業、12時昼食、午後一時作業、

等です。

特に感じたこと

門農業協同組合とのつながりが、うまいやまい程ガッチリしています。

また、この部落は、東京に近いため、今から数年前までは、ずいぶん出かせぎがあり、部落内の風紀が乱れてたいへん困ったそうです。しかし、現在では、そういう人達も村に帰り、一生懸命、農業

飼料作物

作付けは計画的に

飼料作物は、家畜の粗飼料として重要なものです。特に、酪農経営上には、乳牛の維持飼料として欠くことができません。

この作付けについては、乳牛の要求に合う量を、年間を通じて毎日与えられるように生産するために、計画的に実施する必要があります。

①乳牛に与える粗飼料の一日の給与量のめやす。

3時休憩、5時作業終了、6時30分夕食、作業は、ブドウ、梨の整枝、せん定、棚掃除、有機質肥料の運搬	約8-10%位
サイレージ	約3-4%位
乾草	約5-12%位
いねわら	約2-3%位
根菜類	サイレージの2倍

経営に専念しているという話を聞きました。

最後に、この2か月間の研修生活は、自分にとって偉大な成果をもたらすと確信しています。

この必要量も、時期により飼料作物が異なるので、その作物別の取量を知らねばなりません。

②時期別の収量

飼料の種類	期間
サイレージ	一五〇日(11-13月)
原料としての青刈とおしの反	ねは5千7千kg
サイレージの出来上り85%位	
乾草	右に同じ
原料の牧草の反収は、7千9千kg	
乾草として出来上り25%位	
根菜類	右に同じ
家畜かぶ	反収7千kg位

粟 3千kg
根 4千kg

青刈作物

青刈とおもしろし

六〇日(7-9月)

約5千kg

青刈だいず

四〇日(7-8月)

約2千5百kg

青刈えん麦

二〇日(5-6月)

約3千kg

甘しよる

四〇日(9-10月)

約2千kg

青刈なたね

二〇日(4月)

約2千kg

オイヤード

二〇日(5月)

右の表は、大体のめやすですがこれを計算の基礎として、作付面積の概略を決定します。

栽培された飼料作物の、給与する際も養分の多い時期は、次のとおりです。

③飼料作物の刈取給与と時期

青刈えん麦	穂はらみ期から開花始めまで
青刈だいず	開花期から出穂直前まで
青刈えん麦	開花期から出穂直前まで
青刈なたね	開花期から出穂直前まで
オイヤード	開花期から出穂直前まで
クロハバ	開花期から出穂直前まで

産卵期の鶏の管理

これから産卵最盛期になると、一か月ほどと休みなしに産卵を続ける鶏も多く、良態も盛んになります。

産卵率8割をこえたら、粗たん白は20%必要です。給与量20%なら、17%の計算ですが食べ残もあり、採食量もや減るので粗たん白20%のエサがよいでしょう。

健康のしおり

農作業と健康

菜の花が咲きはじめ、桜のつぼみもぐらぐらと、一層春らしくなってきました。

農家のみなさんも、そろそろ忙しくなってきたことと思います。さて、今回は、農作業と健康について考えてみたいと思います。

最近、農家の「兼業化」が甚だしいスピードをもって行なわれていきます。そのため「かあちゃん農家」とか「三ちゃん農家」とか言葉が

三月〇日

今日は最高に楽しかった。兄と二人で稲子さんの家に遊びに行ってきたのです。兄と稲子さんは来月早々に式を挙げることになっているの、稲子さんの家の人も遠慮なく話し合いが出来て本当に愉快でした。

兄達は一、二本のビールですっかりいい気分になって農業経営について話し合っていました。

4月クラブの会長さんかと思っただけで、所長さんかと思っただけで、町長さんかと思っただけで、終り頃には一人も農林大臣にメールが上って行ったのですから……

「ネエ良子さん、この話聞いてい

良子さんの日記

(15)

「ウソ、なんでもないの、そこのヨウカンまわしてくれなにかナア」って言ったの、稲子さんが上手に話をそらしてしまいました。しばらくして、

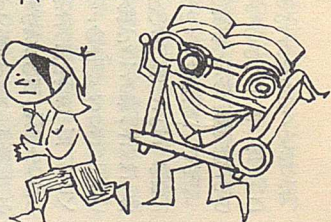
「ネエ良子さん、仲人さんのすすめウチのオヤジ、家中の年金を

「ウソ、なんでもないの、そこのヨウカンまわしてくれなにかナア」って言ったの、稲子さんが上手に話をそらしてしまいました。しばらくして、

「ネエ良子さん、仲人さんのすすめウチのオヤジ、家中の年金を

「ネエ良子さん、仲人さんのすすめウチのオヤジ、家中の年金を

機械に使われては……



機械導入にともなう、新しい健康障害も見逃がすことができません。

機械化が進んだといっても、それは、ごく限られた一部の作業でしかないので、大部分の作業は人力で補助作業を必要としているのです。

でも、機械を使っている行なう作業は、そうでなかった時と比べて、筋肉的な労働の強さという面では、確かに弱くなっていることとは否定できません。

作業全体という観点から見ると、それ程楽になつていないといえないのです。

では、機械化でどんな問題がおこるかという、「振動と騒音」ということです。

耕運機の発動機から出る騒音と、振動が機体のハンドルを握った手に伝わってくるのは、相当なもの、小便の色が変わった「か」頭がぼんやりする「この様なのは、大体「振動と騒音」の結果なのです。

固定資産税

昭和39年度の第一期分は、納期が1か月延長され、5月31日が納期限となりました。

私は、毎日通勤の電車内で、リズミカルな音の響きながら、好きな本を読むことが楽しみの一である。

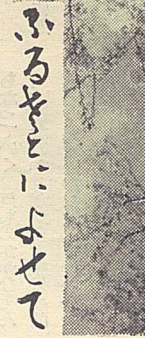
ある朝、珍しく混まない車内で座席を占め、例によってある書物を開いていた。と、隣りにいた青年から、なまりの強い、カン高い話し声がしきりに私の耳についてくる。そのために、私の周囲気はじわじわと、読むことが一向頭にはいらぬので、書物から眼を離した。聞くとなじに耳はいつてくるとの青年の話は、旅行のこと、楽しい帰郷のことらしい。

その内容も言葉から、私は、その話し手は茨城出身であることがすぐにわかった。言葉の抑揚や発音、節まわしなどから、茨城生え抜きの青年であることが直感させられたのである。

私達が、時たま帰郷の折りなど上野駅から常磐線に乗り込んで、一時間余り経過すると、車中の声に郷土色が感じられる時の様に、一種の親近感を覚えたことも事実である。

お国言葉

小野口 政雄



ふるさとをよびよせて

他国にあって、お国言葉というものは、郷土出身の場合、こまやかなつかいもの一つである。しかし、置三人者が開いた場合には、耳ざわりとなりたり奇異に感じられることが少なくないようである。いわゆる、茨城弁なるものも例外ではないように思う。その粗雑さや、誤った発音、正しくない言葉が、かなり包含されているからである。

この点、私達各自で注意し、反省すべきはなからうか。土真の言葉でも、簡潔で、飾り気のない素朴さは捨て難いものであるから、あえて、きれいな言葉に改むべきとは自ら申さないが、要は、正しい言葉が自然のうちに出来るようにしたいものだと思ふ。

私達の郷土、茨城は、総じて保守性が強いと言われている。大地に強く根を張った伝統から生まれた土地の言葉に、いつもは、容易に変えられるものではないかも知れない。

話し方は、教養のあらわれであるという人もある。言葉は、自己の意志を表現し、相互の理解を得

「こんど、皆さんの仲間入りをする、新入生の洋子さん。仲良くしてあげてね」

一年前の三月二十四日、私はこの道に足を踏み入れた。

食事の時、紹介された私は、思うように食事がのどを通らなかつた。これからじまる生活の不安と、期待と、そんな気持ちでいっぱいだった。

「洋子さんというより、洋子ちゃんといった方がいいわね」「こんど来た娘、前より感じがいいわね」と紹介した時、顔を覗きこんでくれた「そんな言葉を耳にした私は、これからは大変だわ、こんな小さなことでも見てもらいたい」と

小さなおとなへ

本多 洋子

最初の二、三日は、夢中で、何が何だかわからないうちに、一日一日が過ぎてしまった。一週間位して、自分の現在に気づきはじめて、そんな時の、友達からの電話や手紙は、うれしかった。私の立場を理解してくれた、主人や奥さんの、あたかも思いやりも、忘れることができない。

だんだん今の生活に慣れてきた私は、現在と、家に居た頃の私が違っていることに気づいた。あたりまえかも知れない。就職をきめた時、既に自由を考え、おとなになりたいと願っていたのだから、それなのに、年長の男の人に話

しかげられたりすると「私は、まだ中学生だよ」と言いたくなる。私は、早すぎる話だ。それがたまたまよくいえた。おとなにならんと願って、これではおとなには、なりたくなかった。私には、もうおとなと「しよ」の生活がきていたのに、実際の生活には、いつた今では、まだ無理の線が気がしてならない。

そんな考えを持った矢先、旅行先で大好きな車球をした時は、ほんとうにうれしかった。夢中で球を打ち合っているうちに、クラスメートから「本多さん」と呼ばれかけられるような気がした。そして、ふと、自分の間違った考えに気づいた。もう、親に心配をかけないで、ひとりでもうつてきたら、早く、正しいおとなにならう。健康なからだで車球し、そして職業に打ちこめる私に、大きなプライドが湧いてきた。

友達には、会社をやめて、家で手伝いをしている人もいる。家から動いている人もいる。そんな人に対して「どうしてやめたのだらう」とは思わぬ。かえって「いいわね」と思うことがある。

なぜなら、その人達の方が、ずっとお父さん、お母さん思いのような気がする。自分は、余りにも単純な気持ちで就職したのではなかつたろうか。

私は、そんな気持ちを、父母に話してみたことがある。

「家を離れて就職したからって、

※

かしこくはなしてきます。

「後悔、先に立たず」という言葉がありますが、私の勉強はほんとにそのとおりでした。

「どうか、下級生の皆さん、先生のお言葉に従って、一生懸命勉強してください」と、私の経験から一言、言わせていただきます。

~~~~~

郷孝行とはいえないわね。家に居た方が、お父さんもお母さんもうれしいですよ」

父母は、最初から家に居ることを望んでいたから。

それでも、

「家を離れて今の生活から、それだけの考えを持ち、わかるようになったのだから、あとうるさくは自分でできるよ」と、あくまでも父母達をきかすようにはしなかつた。

自分自身、今の生活は毎日のな毎日で、あると思ふ。間違った考え方をなおし、真からおとなになることのむずかしさを教えてくれたのだから……。

本多の、本多洋子を、懸命にきいていて。そして、無理におとなにならなくてもいい。大きなことでも小さなことでも、かわいなおとなにならう。これからの生活のために。

(昭和38年3月、玉造中学校卒業、東京都内、市村デザイン工房)

# 不安と勇氣

玉川中 瀧ヶ崎 寛久枝

学年末テストも終わり、就職も決まってしまうのは、ただ卒業式を待つばかりになってしまった三年前、私達は、ちょっとおとなになった喜びと、中学校生活に對しての不安が入りまじった、複雑な気持ちで、この学校の門をくぐったのだ。



果てしなく若者の声



(手賀中 で)

しかし、今早くこの学校を離れようとして、長い間、あんなに大きな波が押し寄せてきた、びくびくしないぞ、してなめるのかと、新しい勇氣が湧いてくる。

そして、就職の日を、心の底から待ちわびているのである。

土に親しむ

手賀中 野原 文江

卒業を目前にひかえて、進学、就職又は在家のどちらにしようかとずいぶん迷いました。

父は「高校にはいりたければ、はいてもらい」と言ってくれましたが、ほんとうの心は、家にいて、田畑の手伝いをやつてもらいたかったのです。しかし、近所の友だちたちが進学をするので、そう言ったのだと悟りました。

私は、一つ違ひの姉がいます。余り年が近いので、時々意見の違ひからけんかをしたり、何かにつけ姉と比較して見られてしま

のです。そんなことを考えると姉と力をあわせて仕事をしたい、自信がなくなり、就職しようかとも思いました。このことを父に話したら「世の中に出て働いても、思うようににはならない。つらいこと多いぶんある」と言っていて、いろいろのことな話してくれました。心に、じんときえるものがあり、父の言うことがもともとだと思われてきました。

姉は「高校へはいった方がいいよ。あとで後悔するから」と言いました。でも、私は絶対にはいらないと決めました。私は、在家だからといって、別にひかみを持ちません。むしろ、温かい親もて指導を受けながら、働くことを喜ぶと共に、土に親しみをもち、青々とした五月、そして黄金色に輝く収穫時、この頃に浮かべ、早くその時期が来ればよいと思っています。

いなかの女性農民だつて、都会の女性に負けない若さがあり、むしろ、仕事を通して別の喜びのあることを感じています。また、農閑期には、女としての技能をしっかりと身に付け、誰にも負けない豊かな生活ができるよう、努力する覚悟です。

# 統合中最初の卒業

現原分教室 清水 春江

義務教育最後の課程も、残り少なくなつてしましました。「光陰矢の如し」といいますが、まさにそのとおりです。今になって、一年の頃の私は「何事にも夢中だったな」と思っています。

しかし、三年生になると、今までの情勢と変わつてきました。それは、旧玉造中と旧現原中が統合して、新しく玉造中学校が誕生したからです。

そのために、学力面、また生活面で種々向上した点がありました。特に運動面では、玉造分教室の生徒達と、お互いに一致協力した結果で、いずれの部も、りばな成績をおさめることができました。また、運動面ばかりでなく、生徒会関係の大きな行事も一緒にやることができました。そのおかげで、交友も一段と親密になった様に思われます。

私達は、以上の様にいろいろとスムーズにできたのも、やはり玉造統合中学校として、また、高学年の自覚と責任があったからではないでしょうか。

最高学年としての一年は、大きく動揺しましたが、ここにあったいろいろの思い出は、楽しく、また苦しく、私達の胸中に生きています。これから今後の「か」として生かしていきたいと思います。

今は、今後の飛躍に胸をくらませている時でもあります。大いに楽しく、有意義に残り少ない学校生活を味わつていきたいと思っています。

# 自分の腕で

立花中 長山 雅美

就職する処は、羽田のあるサービス会社である。空港は、みわたすかきりの原はのよう。冬は冷たい風が吹き、夏にはコンクリートの上に、じりじり照りつける太陽でとても暑いそうだ。余り体力のない僕にとって、無事に勤まることが心配だ。しかし、自分の意志で決めた就職先だから、どんなに辛いことや、苦しいことがあってもやりぬくつもりでいる。

僕の就職する処は、羽田のあるサービス会社である。空港は、みわたすかきりの原はのよう。冬は冷たい風が吹き、夏にはコンクリートの上に、じりじり照りつける太陽でとても暑いそうだ。余り体力のない僕にとって、無事に勤まることが心配だ。しかし、自分の意志で決めた就職先だから、どんなに辛いことや、苦しいことがあってもやりぬくつもりでいる。

# 後悔

玉川中 瀧ヶ崎 寛久枝

桜の花が咲く四月、入学してから、はや二年の月日が流れました。中学生になった頃は何かからず、一つの事をやるにしても「先生、先生」と聞いていた私達、でも今はもう社会へ、ひとりの人間として立ち向かっているかなければなりません。

楽しかった中学校生活、長い間で短かった三年間、あとからあとから、思い出が目に浮かびます。一年生のとき、上級生にいじめられ泣いたこと。部会や球技大会でバスケット部に負けてしまい、みんなと一しょに泣いたこと。中学校最後の修学旅行、はじめて友だちと一しょにお泊るへはいったりの思い出がわいてくる。

私は、高校受験を前にして、なせもつと勉強しておかなかったかと、後悔もしています。

「二年生の頃、基礎がたいせつだから、二年のうちにからしつかり勉強しておきなさい」と先生によく言われたことを思い出します。

その頃は、まだ三年になれば何とか、という甘い考えでいました。おろかであった私が、恥ず



商工会欄

珠算検定試験を実施

第6回全国商工会珠算検定試験は、2月23日、玉造小学校で実施されました。

合格者は、次のとおりです。

- 2級 成島千恵子
- 3級 高野啓子、小野瀬安子、店曲悦子、額賀洋子、塩美枝子、金子和子、平間和子、中根幸枝、河野小夜子、岩本佳子、武田貞夫、平野忠夫、高橋俊江
- 4級 嶋谷照雄、山島利子、浅野とみ江、吉田智子、本沢玲子、本沢はる江、野原美智子、松本初江、高野英男、森作純子、水野幸枝、中島久夫、関口良一、亀田勝行、曾根幸枝、河野洋司、木川清一、石崎哲志、五十野節雄、宮崎けい子
- 5級 福田三佐夫外25名
- 6級 嶋政弘外33名
- 7級 森作たえ子外19名
- 8級 賛合勇外18名

普及事業の実施経過

昭和38年度における、商工会の経営改善普及事業は、当初の事業計画に基づいて実施してきましたが、各事業所及び会員の協力によって、その成果は大きいものがありました。

以下、その実施経過をたどつてみると、次のとおりです。

○専門指導員による指導

(期日、内容、対象人員)

- 38. 6. 22 店舗診断 4
- 6. 23 〃 6
- 7. 10 金庫融資説明会 4
- 8. 2 商業経営講座 28
- 9. 12 商業経営講座 48
- 10. 12 商業技術講習会 39
- 11. 5 商店街、道路使用講習会 17
- 12. 9・12・13 職業訓練35時間講習会 53
- 12. 11 青色申告説明会 18
- 39. 1. 27 新建材施行技術講習会 26

- 2. 10 簿記講座 31
- 2. 11 〃 31
- 2. 19 確定申告決算検討 3
- 2. 27 労災管理講習会 5
- 2. 28 淡水産加工技術講習会 5
- 3. 9・3. 11 〃 11

○相談指導

- 金融 窓口 巡回
- 税務 67 53
- 経営 1 3
- 労務 2 7
- 取引その他 1 5
- 〇金融のあつ旋 単位千円
- 貸付決定件数 90
- 貸付決定額 36
- 国民金融公庫 78 二四、八二〇
- 自治金融 13 一、九五〇
- 県設備近代化資金 五〇〇

鮮魚組合創立

町の鮮魚販売業者は、かねてから組合の結成を急いでいましたが、

電気事故をなくそう

あぶない！電柱登り  
や電線近くのしごと



感電事故は、チョツとした不注意や、好奇心から起きるものが大部分です。

正しい電気知識と、あぶないところには近寄らないことを守れば、完全に防ぐことが出来るのです。

感電事故には、つぎの様な例があります。

○雨漏りを直そうとして、トタン屋根のぼり、電線(〇〇ホルト)に触れて亡くなった。

○テレビアンテナを建てる仕事をしているうちに、高圧線に触れて、感電死した。

○雀の巣をとろうとして、電柱のぼり、小・中学生が亡くなった。

○モーターをつかっている農家で、いたんでいるキヤタヤコードをつかんだため、感電死した。

○小さな子どもが、こわれたラジオのアンテナをつかんだところ、漏電していたため大ケガをした。

等々、枚挙にいとまがありません。

○電柱には、絶対に登らないようにしましょう。

電線の近くで仕事をするときは、万一電線に触れてもたじろふという、保護施設をしますから、近くの東京電力に相談ください。

人事異動

庁内【4月1日付】( )は旧職

総務課長 小沼 渉

建設課長・営理係長兼任 萩原 健吉

総務課 財政係長兼任・庶務文書係長 小谷 英夫

企画係長 佐山 淳

町民室 坂本 行

福祉係長 (保険衛生課衛生係長) 玉造中へ

常楽恵子

現原小へ 平野晴之、鈴木実、友水久子

手賀小へ 栗原静代、滝ヶ崎三郎

羽生小へ 久米信良

浜小へ 新堀美智子

玉造中へ 芳野智子、高崎直之、内田光子、貝塚正子、市川佳水子(事務職) 橋本芳雄

立花中へ 島田隆四郎、海老沢雅夫

玉川中へ 館見恭、斎藤良子、浜田とみ

〓転出〓

玉里北小へ 羽鳥千鶴子(玉造小)

小川小へ 近藤進治(玉造小)

寿小へ 樫村幸子(玉造小)

八郷高へ 小松崎洋子(玉造小)

- 振興係長兼任・産業課長 等原 秀司
- 産業委員会事務局局長兼任 慶政係長 広原 正行
- 保険衛生課 衛生係長兼任 大和田 甲
- 教育委員会 教育委員長 額賀 直行
- 事務局長 (総務課企画財政係長) 小・中学校 現原小へ(教頭) 倉田真輔
- 羽生小へ(教頭) 田山信男
- 玉造中へ 秋山若男
- 玉造小へ 小貫史朗、塚越信子、常楽恵子
- 現原小へ 平野晴之、鈴木実、友水久子
- 手賀小へ 栗原静代、滝ヶ崎三郎
- 羽生小へ 久米信良
- 浜小へ 新堀美智子
- 玉造中へ 芳野智子、高崎直之、内田光子、貝塚正子、市川佳水子(事務職) 橋本芳雄
- 立花中へ 島田隆四郎、海老沢雅夫
- 玉川中へ 館見恭、斎藤良子、浜田とみ
- 〓転出〓
- 玉里北小へ 羽鳥千鶴子(玉造小)
- 小川小へ 近藤進治(玉造小)
- 寿小へ 樫村幸子(玉造小)
- 八郷高へ 小松崎洋子(玉造小)
- 桜丘中へ 滝田弘好(羽生小)
- 玉里小へ 室町和男(羽生小)

小高中学校長へ 鈴木保夫

緑ヶ丘中へ 海老沢幸雄(玉川中)

麻生高へ 相川誠子(玉川中)

東中へ 榎塚聡夫(玉川中)

河内中へ 根本実(立花中)

小高中へ 川匠三天(玉造中)

夜来高へ 渡辺二郎(玉造中)

警察 部長派出所 巡查 井上 禮二

能登島巡查は麻生署へ、海老根信巡查は小高駐在所へ



文芸

俳句

房総二浦半島の旅 あや子  
早春の海底までも光らせ鯛  
磯の香や若布売りの女はたけしき  
灯台も人も春めき写されぬ

俚語

出沼 自雨

高松進学舎裏に 波菜波

年も新たに町ひろびろと  
はゆるたつ年 たまつくり

あとがき

春です。新しい生涯、建設への  
営みが、ここから出発します。

(文)

発行所 玉造町役場 発行人 坂本常成 編集 広報委員会(定価一部10円)

印刷所 新いはらき印刷局